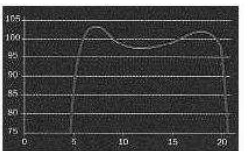
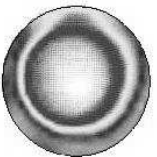
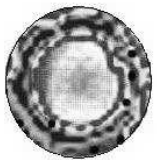
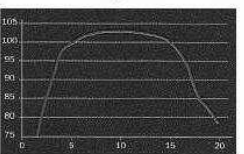


レップ社「ターボキュア」展開

加硫時間短縮、スコーチ防止、品質向上実現



↓
TemplInverter®
↓



【関西】世界有数のゴム射出成形
機メーカーの一つレップ社(仏)
の日本総代理店である(株)セル・
コーポレーション
ポキキュア(R)仕様
のゴム射出成形機である。

このシステムは、レップ社製ゴ・射出成型機が不向きと評価される、コストダウンとサイクルアップが要求され・防振関連の成型に対応できる機能を有している。

基本的な思想は、ゴムの様な弾性体が筒の中を通る場合に、外壁に接する部分で発生するエネルギーよって起こる内部との温度差を均一にすることによるもの。

通常ノズル使用時・先端部で温度測定を行うと、分布にばらつき・特・外周が加熱状態なる。このまま状態でゴムを金型内に射出すると、さらなる温度差が生じ、加硫量の均一化不備や製品表面のスコーチなどの問題が発生する。

「テンプレインバーター(R)」は、温度反転装置であり、ゴム外周部にかけられた高エネルギーを内部へ送り・内部の低エネルギーと入れ替えることにより、この問題を解決する。同時に余分なエネルギー消費量を減少させ、より多くのエネルギーをゴムに与える為の高度な成型条件を設定できる。これにより、エア混入の減、質の向上等のメリットが発生する。

天然ゴムによる単一の防振マウント製品(厚み三〇mm・直径六〇mm)の成型試験のデータによると約三〇%の加硫時間の短縮が確認された。金型部位のランナーゲート内で同様におこるこの問題を解決するのが、「フィルバランサー(R)」である。多数取りの金型におけるゴムの流し方を変更する技術で、温度配分の均

の加硫時間の短縮ができ、生産数を向上させつつCO2排出量を下げられる効果が期待されます。

射出ユニット部内においては「テンプレインバーター」システム、金型部位では「フィルバラ・サ・」システム・あり・総称して・ターボキュア・となる。